

田原市 地域コミュニティ連合会



会報第3号
2012.6.15

「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指すため、それまでの総代会に代わって、平成23年度に発足しました。連合会では、地域コミュニティ活性化のための調査・研究、定例理事会などでの意見交換、交流スポーツ大会、市への要望活動などを行っています。

*** 平成24年度の連合会役員をお知らせします ***

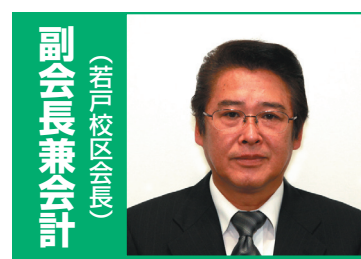
代表理事



山田 憲一



川崎 政夫



伊藤 明宣

理事



井上 常雄



彦坂 雄三



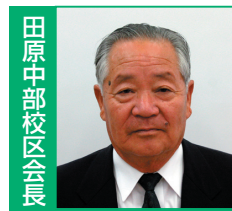
彦坂 善弘



志手 一光



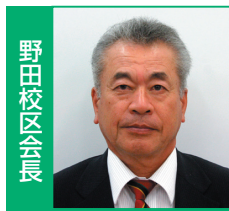
中神 正篤



眞木 良典



鈴木 海司



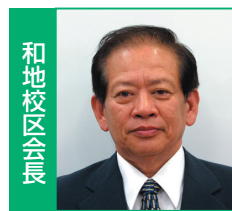
河邊 寿夫



光部 利秀



夏目 尅佑



藤井 幸太郎



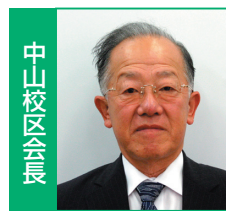
高瀬 勲



小久保 健一



山本 達夫



高須 顕示



大岩 宗司



鈴木 昌弘

地域コミュニティ = 地域の助け合い

地域に暮らす人々が、心のふれあい・相互理解・連帯意識を高め、みんなで手を取り合って、やすらぎとうるおいのある地域社会を築くことが、地域コミュニティの目的です。

【校区会長】＝校区コミュニティ協議会長の略



●定期総会



●地区行政連絡会

※1 定例理事会

連合会が毎月開催している会議で、地域課題の意見交換や連絡調整を行っています。偶数月は田原市長はじめ市幹部も出席しています。



※2 交流スポーツ大会

地域のスポーツ振興、地域間交流、校区内の連帯意識向上のため、市教育委員会と連携し開催します。昨年度はパターゴルフ大会を行い、全20校区から参加した79名の選手が交流を深めました。本年度は6月16日（土）に、校区対抗の綱引きと玉入れを実施します。

平成24年度の定期総会等を開催しました

4月18日（水）午前10時から、田原市役所において、**平成24年度田原市地域コミュニティ連合会定期総会**を開催しました。総会では、代表役員の選出や、平成23年度事業報告・決算、平成24年度活動方針および事業計画・予算の承認がなされました。

総会の席上、山田憲一連合会長は、「誰もが安心して暮らしやすい地域を目指すためには、特に防災、防犯、福祉などの分野において、地域の絆づくり、人と人とのつながりが非常に重要となっていますので、ご協力をよろしくお願いいたします」と述べました。

総会終了後には**定例理事会**（※1）を開催し、また、午後は華山会館に会場を移して、連合会役員と市内全106の地区自治会長、市長はじめ市役所幹

部職員出席のもと、**地区行政連絡会**を開催しました。

地区行政連絡会では、市役所や田原警察署から協力依頼や諸連絡がなされた後、衣笠校区コミュニティ協議会の鈴木海司校区会長と福江校区コミュニティ協議会の川崎政夫校区会長から、それぞれ自主的な地域づくりの取り組みが発表されました。（概要を3頁に掲載）



●地区行政連絡会

平成24年度の活動方針

| 目標とする地域社会 | 誰もが暮らしやすい社会 |
|-----------|--------------------------------------|
| 活動の目標 | みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくりの場 |
| 推進項目 | ①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 |
| | ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 |
| | ③情報交換や交流イベント等により連携意識を高め、人づくりを進めましょう。 |

平成24年度の事業計画・収支予算

| 事業計画 | | 収入 | | |
|------------------|-------|--------|--------|----------------|
| | | 科目 | 金額(千円) | 摘要 |
| 定期総会 | 4月 | 1 会費 | 1,200 | 各校区協議会負担金 |
| 定例理事会 | 毎月 | 2 市補助金 | 4,200 | 運営・計画書印刷 (H24) |
| 地区行政連絡会 | 4月 | 3 繰越金 | 186 | 前年度繰越金 |
| 交流スポーツ大会（※2） | 6月 | 4 その他 | 1 | 雑入 |
| 広報発行 | 6月・1月 | 計 | 5,587 | |
| 連合会要望活動 | 10月 | 支出 | | |
| 先進地視察研修 | 11月 | 科目 | 金額(千円) | 摘要 |
| 地域コミュニティ活性化研究会 | 随時 | 1 運営費 | 480 | 会議費・役員費・事務費 |
| 地域懇談会（行政懇談会） | 随時 | 2 事業費 | 4,970 | 調査研究・計画推進・広報等 |
| 各校区まちづくり推進計画書印刷 | 随時 | 3 予備費 | 137 | |
| 市施策・公益活動等への協力 | 随時 | 計 | 5,587 | |
| 市審議会等への委員参加 | 随時 | | | |
| 連合会ホームページによる情報提供 | 随時 | | | |

衣笠校区コミュニティ協議会



衣笠校区では、『衣笠校区まちづくり推進計画』に定められた将来像、**豊かな緑 住みよい環境 みんなで人づくり**を目標に、地域づくりに取り組んでいます。

7つの自治会・町内会をはじめ、田原区、老人会、子ども会、PTA、市民館利用団体のほか、青少年健全育成推進員、民生児童委員の行政委員、中学校、小学校、保育園などの行政機関から73名の委員が参加し、校区コミュニティ協議会の運営を行っています。

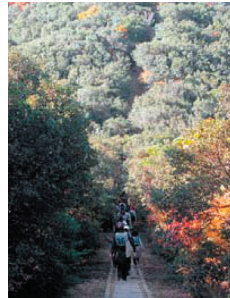
主要施策の推進は、「広報」「企画」「体

育レク」「生活環境」「安全」「福祉」の6つ専門部会で行っています。

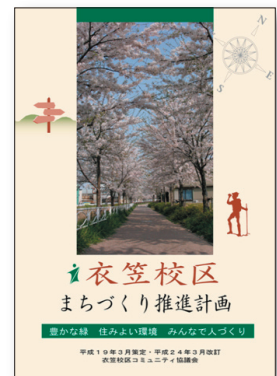
コミュニティ協議会の活動拠点である衣笠市民館は、協議会の活動のほか、各種団体やグループの利用が非常に多く、年間の利用者は延べ3万人以上になっています。

衣笠校区の主な取り組み (H23)

【会議】総会／行政懇談会【まつり】市民館まつり
【自然】ホテル観察会／衣笠自然歩道ハイキング大会／里地山保全活動【スポーツ】グランドゴルフ大会／スポーツ健康講座／ミニバレー大会／盆ソフ
トボール大会／ドッジビー大会／ゲートボール大会／綱引き大会／タスポニー大会【福祉等】地域ふれあい活動／夜店巡回指導／三世代交流講演会／衣笠子ども見守り隊活動【その他】広報誌発行／各種教室



●衣笠山ハイキング



衣笠校区のあらまし

昭和60年に衣笠小学校の開校とともに発足しました。田原市街地の一部を担い、平成以降は大規模な宅地開発が進みました。一方で、衣笠山などの里山を有し、藤七原地のシデコブシや清谷川のゲンジボタルなど、豊かな自然環境にも恵まれています。

○人口 5926人
○世帯 2427世帯
○面積 約673ha
(平成24年3月末現在)

福江校区コミュニティ協議会



福江校区では、『福江校区まちづくり推進計画』に定められた将来像、**笑顔で元気なまち 福江**の実現を目指し、地域づくりに取り組んでいます。

校区コミュニティ協議会の運営は、4地区の会長をはじめ、各種団体の長や地区役員で行っています。

平成23年度は、“繋ぐ”をテーマに校区の活動を進めてきました。新たな取り組みとして、地域に埋もれている宝を発掘し、校区や市民館行事で活躍していただけるような、多種多様な才能を持った方の活躍の場作りと、その

力を地域づくりに役立てることを目的とする「福江校区人材BANK（バンク）」を始めました。すでに、1月から校区内で募集しています。また、大きな課題となっている地震・津波への対策として、避難経路検討会議や防災講演会を開催しています。

福江校区の主な取り組み (H23)

【校区活動】総会／津波等避難経路検討会議／防災講演会（清田校区合同）／市民館まつり／ほたる鑑賞会【市民館活動】男の料理教室／ステンドグラス教室【地域をつなぐ活動】福江校区歴史探検会／わくわくパーク／親子おしゃべり広場【新規】福江校区人材BANK

【情報発信】

市民館ブログ
／パンフレット作成（予定）



●福江市民館ブログ <http://blog.canpan.info/fukue/>



福江校区のあらまし

旧渥美町の中心市街地として、商業施設などが立ち並んでいます。それを取り巻くように農地が広がり、また福江港という海の玄関も有しています。免々田川のゲンジボタルやカワツザクなど自然環境、保美貝塚など歴史文化の資源も豊富です。

○人口 4411人
○世帯 1424世帯
○面積 約730ha
(平成24年3月末現在)

田原市地域コミュニティ連合会の専門委員会として、昨年8月に「田原市地域コミュニティ活性化研究会」が発足しました（詳細は連合会会報第2号でご紹介しています／連合会ホームページで閲覧可能）。

平成23年度は、愛知大学教授の鈴木誠氏をオブザーバーに計5回の会議を開催し、「①自治会加入の促進」「②住民情報の把握」「③活動参加の拡大」について調査・研究を行いました。今年3月に中間報告が行われましたので、今回はその概要をお知らせします。

①自治会加入促進について

アパートなど、集合住宅居住者の自治会加入の現状を把握し、加入促進の方法を検討しました。

【目標・改善方策】

- ◎加入促進の仕組みや手順を整える
- ◎未加入の方へ自治会活動の必要性を説明し、協力を呼びかける
- ◎地域コミュニティ活動の重要性、自治会の役割に対する市民の意識を高めるなど

【さっそく実践】

- ◎連合会による加入促進ポスターの作成
- ◎アパート管理会社への協力依頼 など



●自治会加入促進ポスター（H23年度作成）

②住民情報の把握について

地域における住民情報の把握・台帳作成の現状を調査し、情報把握・台帳作成・管理方法を検討しました。

【目標・改善方策】

- ◎確実な方法で情報を把握し、厳格に管理する
- ◎地域状況に応じた、効率的で利用・管理しやすい台帳システムを調える
- ◎安心して情報提供できるような民主的で信頼される自治会運営を実現する など

③活動参加の拡大について

自治会・コミュニティ協議会における活動参加の実態を把握し、参加拡大の方策を検討しました。

【目標・改善方策】

- ◎コミュニティ活動の目的・必要性を明らかにし、情報発信する
- ◎さまざまな行事で参加機会を用意する
- ◎各種団体を支援し、連携して活動することで人の輪を広げる など

●連合会ホームページをご覧ください！

田原市地域コミュニティ連合会では、活動内容や各校区のイベントなどの情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください。

田原市地域コミュニティ連合会

検索

- 会報第3号：平成24年6月15日発行
- 編集：田原市地域コミュニティ連合会
- 事務局：田原市役所市民協働課
電話：0531-23-3504
メール：tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp
ホームページ：http://tahara-komiren.com/

